

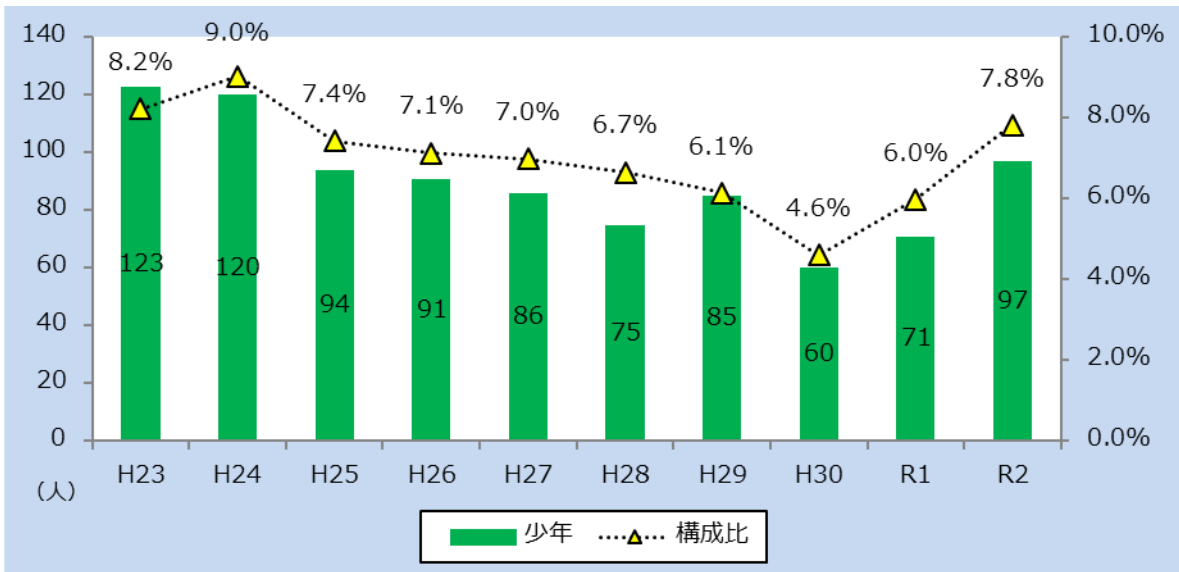
# 第3 特別法犯少年

## POINT!

- 検挙人員は**97人**（前年比+26人）で前年から**増加**
- 28.9%は児童買春・児童ポルノ禁止法
- 19歳が全体の**27.8%**
- **37人（38.1%）**が高校生で、前年に比べて11人（42.3%）**増加**

## 1 検挙人員、特別法犯総検挙人員に占める少年の割合

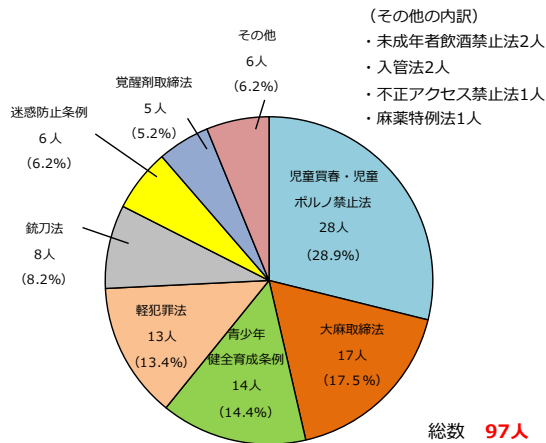
- 過去10年間における特別法犯少年の検挙人員は、増減を繰り返していますが、令和2年中は97人で、前年に比べ26人（36.6%）**増加**しました。
- 特別法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）は7.8%で、前年に比べ1.8ポイント**上昇**しました。



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
											前年比	増減率
特別法犯総検挙人員	1,494	1,327	1,266	1,276	1,230	1,127	1,384	1,305	1,186	1,239	53	4.5%
少年	123	120	94	91	86	75	85	60	71	97	26	36.6%
うち女子	19	8	13	8	16	7	12	7	14	6	-8	-57.1%
成人	1,371	1,207	1,172	1,185	1,144	1,052	1,299	1,245	1,115	1,142	27	2.4%
特別法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）	8.2%	9.0%	7.4%	7.1%	7.0%	6.7%	6.1%	4.6%	6.0%	7.8%	+1.8P	-

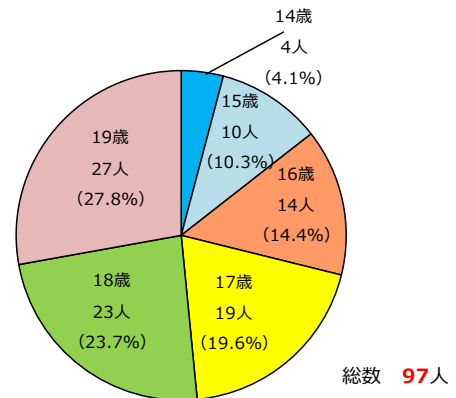
## 2 法令別検挙状況

法令別では、児童買春や児童に姿態をとらせる方法による児童ポルノ製造等の児童買春・児童ポルノ禁止が28人と最も多く、全体の28.9%を占め、次いで大麻取締法違反が17人で、全体の17.5%を占めました。



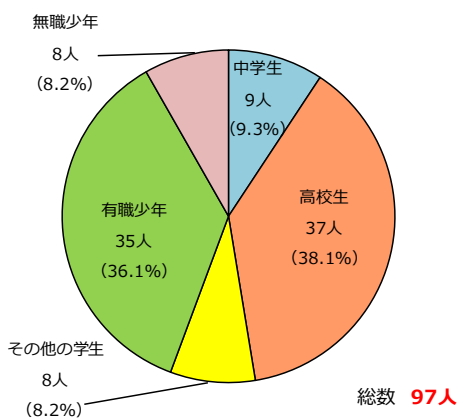
## 3 年齢別検挙状況

年齢別では、19歳が27人で最も多く、全体の27.8%を占め、次いで18歳が23人で、全体の23.7%を占めました。



## 4 学職別検挙状況

学職別では、高校生が37人で最も多く、全体の38.1%を占め、次いで有職少年が35人で、全体の36.1%を占めました。



注：「その他の学生」とは、大学生及び専修学校生等

## 5 男女別検挙状況

男子は91人で、前年に比べ34人(59.6%) **増加**し、全体の93.8%を占めました。

女子は6人で、前年に比べ8人(57.1%) **減少**し、全体の6.2%を占めました。

